阿久根市議会　第７回

議員と語る会

１班

◎白石純一　○竹原恵美　岩﨑健二　濵之上大成　西田数市

木下孝行議長

２班

◎竹原信一　○中面幸人　山田　勝　渡辺久治　牟田　学

３班

◎仮屋園一徳　○濵﨑國治　大田重男　野畑　直　濵田洋一

◎班長　○副班長

第７回（平成３０年度）
「議員と語る会」会次第

1　開会あいさつ

2　出席議員の紹介

3　議会からの報告

⑴　旧国民宿舎等の整備状況について（２Ｐ）
⑵　市民交流センターの利用について（３Ｐ）
⑶　寺島宗則旧家保存活用プロジェクトについて（４Ｐ）
⑷　議員定数について（５Ｐ）

4　意見交換

⑴　報告に対する意見・要望について
⑵　市政・議会に対する意見・要望について

5　その他

6　閉会あいさつ

【議員と語る会班構成】

班	班長	議員名	所属委員会
１班	◎	白石　純一	産業厚生
	○	竹原　恵美	総務文教
		岩﨑　健二	産業厚生
		濵之上大成	総務文教
		西田　数市	総務文教
２班	◎	竹原　信一	総務文教
	○	中面　幸人	産業厚生
		山田　　勝	産業厚生
		渡辺　久治	総務文教
		牟田　　学	産業厚生
３班	◎	仮屋園一徳	産業厚生
	○	濵﨑　國治	産業厚生
		大田　重男	総務文教
		野畑　　直	産業厚生
		濵田　洋一	総務文教

※木下孝行議長は公務の状況によりいずれかの班に出席

⑴　旧国民宿舎等の整備状況について

◇　これまでの経緯

・昭和４９年６月　「国民宿舎あくね」開業
・平成２７年７月　民間譲渡の公募実施、「選定に至らず」
・平成２８年３月　グランビューあくね閉館
・平成２９年９月　老人福祉センターとともに解体の上、跡地の３０年間無償貸付を条件に公募開始
・平成３０年１月　２社応募、第１回選定委員会
・平成３０年３月　第２回選定委員会
・平成３０年４月　既存施設解体費及び温泉施設の改修費を当初予算に計上
・平成３０年６月　議会で、市長より、旧国民宿舎跡地を含む一帯での観光施設開発を進めたいとの意向表明。
第３回選定委員会
「選定に至らず」との結論

【今後の取組】

○香港系企業ＨＫＲ社と、観光振興施策を共同で取り組む趣旨の協定締結に向け協議中（８月中の協定目標も１０月５日現在未締結）

阿久根高校跡地利用

◇　これまでの経緯

・平成１９年３月　阿久根高校閉校
閉校を機に、中高一貫校の誘致の他、福祉施設、簡易宿泊施設等の提案があるが実施に至らず
・平成２７年６月
市議会において「旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会」を設置
・平成２７年１１月
「市活用検討会議」設置（１回開催）
・平成２８年６月
９回の委員会を経て、委員長報告（福祉施設等、複合的な施設整備等の提案あり。）
・平成３０年４月
整備構想等の策定経費を当初予算に計上

【今後の取組】　・旧国民宿舎の計画を補完する形で整備を検討

⑵　市民交流センターの利用について

◇　整備の目的と基本理念

・「すすんで教養を高め文化のまちを創る」市の定める市民憲章の一節です。今回整備を図るホール・市民交流センターは，この理念を具現化するための必要不可欠な施設であり，文化芸術の創造・発展を通じた人づくり・まちづくりを目指し，にぎわいと新たな文化・歴史を創造するための文化芸術活動・生涯学習及び各種伝統芸能継承の拠点となるものです。

◇　これまでの経過

・昭和４１年　市民会館開館
・平成２５年８月
　市民交流センター建設方針策定、公募型設計プロポーザル公告
・平成２５年１１月
　プロポーザルの２次審査で事業者を選定
・平成２８年１０月
　第１１回市民ワークショップ、第１６回建設委員会同時開催
・平成２９年２月
　第１回臨時議会において、市民交流センター建設工事契約案件議案可決
・平成３０年７月
　公募による愛称決定『風テラスあくね』
・平成３０年９月
　市民交流センター条例の制定（使用料、開館時間、管理方法等の決定）
　〃建設工事請負変更（５千９百９万円増額）契約の締結

◇　今後の予定（平成３０年度開催計画）

・平成３０年１１月　市民交流センター開館
　映画「かぞくいろ」上映
・平成３１年１月　富貴晴美（西郷どんテーマ曲家）トーク＆コンサート

⑶　寺島宗則旧家保存活用プロジェクトについて

◇　これまでの経緯

・　本市脇本出身の偉人で明治維新の立役者の一人でもある「電気通信の父」寺島宗則（松木弘安）にスポットを当て、脇本に現存する寺島宗則旧家の修復や周辺環境の整備による観光客増を図ります。

・　旧家は天保年間に建築され、築後約１８０年を経過していますが、歴史的建造物です。

・　整備後は、尚古集成館（鹿児島市）、薩摩藩英国留学生記念館（いちき串木野市）を結ぶ広域的な周遊コースをめざします。

◇　主な事業内容

（平成２９年度）

・グランドデザイン作成、道路改良

（平成３０年度）

・旧家整備、周辺整備、史料保存、記念館設計

（平成３１年度）

・記念館建築、駐車場・散策路の周辺整備講演会、ガイドツアー等

◇　主な財源

○企業版ふるさと納税（予定額４億７千８百万円）

平成２９年度　　２千５百万円
平成３０年度　１億７千３百万円
平成３１年度　２億８千　　万円

○ふるさと納税

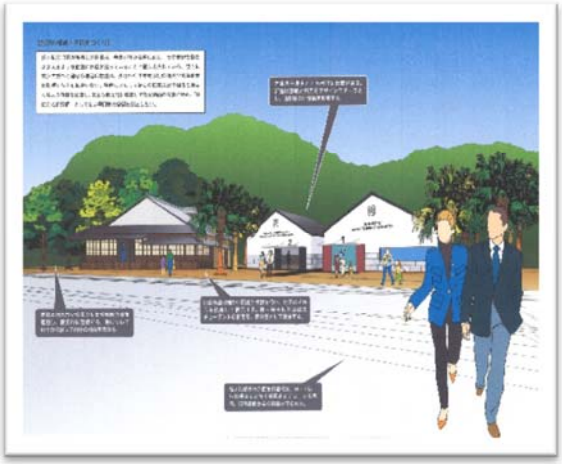
○一般寄附

【寄附の現状（平成３０年８月末現在）】

・企業版	２件	１千　１０万円
・ふるさと	１２８件	１９３万５千円
・一般	３件	１２０万円
合計	１３３件	１千３２３万５千円

◇　その他

・地元脇本でも寺島宗則の偉業を学ぶとともに、未来の子供たちへ伝承するために「寺島会（会員約５０名）」が発足し、活動を行っています。



⑷　議員定数について

◇　これまでの議員定数

改選年月	議員定数	人　口
昭和３１年　６月	３０	41,344
昭和４６年　４月	２６	32,604
昭和５８年　４月	２４	29,778
平成　９年１２月	２２	27,718
平成１７年１２月	１６	25,658

※人口 41,344 人は昭和 30 年国勢調査人口
※平成３０年９月末現在人口　　20,681 人

◇　議員定数（１６名）に至る経緯

・平成１６年６月２５日
議員定数削減に関する陳情書（区長会提出）
議員定数等調査特別委員会に付託
・平成１７年２月２４日
特別委員会委員長報告（趣旨採択）
・平成１７年３月２５日
定数条例改正条例（２２名→１６名、可決）
【平成１７年１２月選挙から適用】

◇　議員定数（直近）の経過

・平成２６年８月２２日
議員定数検討委員会の設置を求める陳情書
・平成２６年９月８日　議会運営委員会付託
・平成２６年９月２４日
議員定数等に関する調査特別委員会設置
（４回開催）
・平成２７年２月２６日
特別委員長報告（現状の定数との結論）

【主な意見】

○議員と語る会や区長会での意見を踏まえ、現在の定数１６名のままで良い。
○市民の声を吸い上げて、市政に反映するのも議員であり、定数を削減するとチェック機能の低下につながる。
○地方創生、権限移譲等で行政の業務量が増える中、対応すべく市議会が議員を減らすのはどうかと思う。
○２減が適当と思う。委員会も兼任制とすれば、従来の市議会の運営に大した影響はない。
○定数に加え、政務活動費、報酬の議論も必要。

◇　今後の予定

・平成３０年９月２５日
議員定数等調査特別委員会を設置し、１５名の委員による審査を開始する。